

設立趣旨書

阪神・淡路大震災などの巨大災害においては、行政の能力を超えた対応ニーズや救援ニーズが発生するため、行政等と連携しその補完をはかる災害ボランティアの支援が不可欠である。延べ130万人を超えるボランティアが支援に駆けつけた阪神・淡路大震災は、そのことを如実に物語っている。

ところで、人の命を助けるという災害ボランティアにおいては、一般ボランティアにまして専門技術をもった技能ボランティアに期待するところが大きい。阪神・淡路大震災等では医療のボランティアや通信のボランティアあるいは建築のボランティアなどが活躍したが、救援や再建に関わる技術をもったボランティアや専門家集団の重要性が、そこでは再確認された。

こうした大震災の経験を踏まえて、災害救援や都市復興に必要な専門技術をもった集団を日常的に訓練しておき、いざという場合に備えるとともに、一般市民への防災啓蒙活動によって減災へつなげることが、つよく求められている。

幸いにして、阪神・淡路大震災では、様々な技能団体あるいは職能団体が救援活動に参画し、その支援の必要性を実感するとともに、そのためのノウハウを獲得している。

日本技術士会においても、阪神・淡路大震災では広汎な支援活動を展開し、その中で多様な経験とノウハウが蓄積してきた。こうした状況から、支援のための日常かつ持続的な体制を構築することの重要性を、4回にわたる技術士会主催のシンポジウム等で確認した。そして、技術士会近畿支部建設部会を中心に現組織をさらに幅広く拡大し、公益性の高い非営利の民間法人として組織化をはかることとなった。

技術士会をベースにした分野を超えたネットワークとしての災害救援組織の構築は、多様な専門的ニーズに迅速かつ柔軟に応えられるメリットを有している。多分野における技術者及び技術に関心を有する者が連携して対応する優位性がそこにはある。その優位性を生かしつつ、行政と市民をつなぐ中間支援組織を目指し、また専門技術をもった技能支援組織として、組織化を図るものである。

日常的には、災害時の支援を効果的に推進するため、ネットワークづくり、専門的研修活動、物的減災活動支援、市民啓発活動等（例えば、防災意識啓発用パンフレット作成、防災教材開発、あるいは人材の派遣等）に取り組みことや、行政が行う防災対策でカバーしきれない、個々の命を守る具体的提案もおこなうことを計画している。行政および市民との日常的な連携関係の構築にも努める所存である。

こうした趣旨をご理解いただき、心ある技術者及び技術に関心を有する人達の参画と関係機関のご支援を切にお願い致します。

特定非営利活動法人（申請中）

都市災害に備える技術者の会

事務局 〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地
（有限会社太田ジオリサーチ内）

TEL 078-907-3120 FAX 078-907-3123

e-mail: office@toshisaigai.net

URL: <http://www.toshisaigai.net/>

特定非営利活動法人（申請中）

都市災害に備える技術者の会

issue 1



2003年12月1日設立総会開催

都市災害に備える技術者の会

ひろがり

理事長 笹山幸俊

新年おめでとうございます。皆様には益々健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末には私が兼ねてから考えておりました果てしなき自然災害と人間との係わりに技術を持ち込むことによってその被害を少しでもくい止めることができないものか。それも混乱を最小限にくい止めながら、・・・。

その時、日本技術士会近畿支部建設部会を中心として防災問題に取り組んでいるグループのあることを知りました。多くの業績の中で震災対策技術展（同展・学術展・シンポジウム実行委員会、（財）神戸国際観光コンベンション協会、（財）神戸市防災安全公社 主催）への協力参加には力を入れて毎回著名な講師やパネリストのメンバーを集められてのシンポジウム等を通じて活動し、次第にその目標である都市災害へのまじめな取り組みを見せました。

その後、本格的な組織化、NPO法人設立についての相談などを受けるようになりまして、ついには理事長の役目をお引き受けするに至りました。他にも立派な先生方が多い中ですが、私の市長職当時の予想だにできなかったあの震災での貴重な体験を大いに活かしたいし、利用していただきたいと考えております。

幸い内閣府や国土交通省をはじめ兵庫県、神戸市の関係者の方々から暖かいご理解やご支援も得られまして厚くお礼を申し上げます。

意を同じくする技術者や専門家の皆様方には、ぜひこの組織に参加され、次の都市災害に備える行動に移ることをお勧めします。

以上

NPO法人都市災害に備える技術者の会（内閣府へ認証手続き中）は今年4月以降に認証される予定です

2003年12月1日神戸市において「特定非営利活動法都市災害に備える技術者の会」の設立総会が開催されました。



都市災害に備える技術者の会・役員名簿

氏名	所属	理事	監事
笹山幸俊	(財)神戸国際協力交流センター・理事長 前神戸市長	○ 理事長	
梅田昌郎	(株)建設技術研究所 相談役 元(社)日本技術士会会長	○	
太田英将	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事長 (有)太田ジョリサーチ・代表取締役	○	
柏原士郎	大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻・教授	○	
河田恵昭	京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター・センター長	○	
鹿田晴彦	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事 鹿田技術士事務所・所長	○	
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事 ケーエス技術士事務所・所長		○
高田光雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻・教授	○	
溜水義久	(財)福岡土地区画整理協会・理事長 元兵庫県副知事	○	
新田保次	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻・教授	○	
三輪泰司	(株)地域計画建築研究所・取締役会長	○	
室崎益輝	神戸大学都市安全研究センター・教授	○	
森田孝雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副部会長 テクノス(株)・相談役		○
山田俊満	(社)日本技術士会理事 近畿支部建設部会・部会長	○	